

募金概要

募金使途

新課外活動施設（屋内プール、練習場、トレーニング室を備えた4階建）等、学生の課外活動施設の整備を支援します。

※事業費は、施設建設費及び備品購入費等を合わせて約20億円を見込んでいます。

募金期間

平成27年1月～

ご寄附の方法

- ◆法人としてお申込みをいただく場合
基金事務局よりご案内をお送りします。
- ◆個人としてお申込みをいただく場合
クレジットカード決済、銀行振込、郵便振替によるご寄附をお願いいたします。

税制上の優遇措置

東北大学基金へのご寄附につきましては、税制上の優遇措置を受けることができます。

- ◆法人の場合
寄附金額全額を損金に算入することができます。
- ◆個人の場合
税務署に確定申告をしていただくことにより、所得税の寄附金控除が受けられます。また、宮城県に住所を有する方は併せて個人県民税（一部市町村の個人市町村民税を含む）の寄附金税額控除も受けられます。



感謝の気持ちを込めて

寄附者の皆様への感謝を込めて、数々の特典をご用意しました。

- 賞の贈呈
ご寄附の総額に応じて、賞を贈呈させていただきます。

種別	個人	法人・団体
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功労賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功績賞	10万円以上	100万円以上

- 寄附者顕彰銘板へのご芳名の掲載
賞を受けられた寄附者様のお名前を、東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載いたします。
- 感謝のつどいへのご招待
賞を受けられた寄附者様を、東北大学総長が主催する「感謝のつどい」など大学が主催する催事にご招待いたします。
- 東北大学校友会（しゅうゆうかい）プレミアム会員特典
賞を受けられた個人の寄附者様には、校友会プレミアム会員として様々な特典を提供させていただきます。



学生のための 課外活動施設の整備

東日本大震災を乗り越え、
世界で活躍する
グローバルリーダーを育む



※詳しくは、東北大学基金WEBサイトをご覧ください。
※高額なご寄附をいただいた場合には、施設、室名等にご芳名を冠することができます。
詳しくは、ご相談ください。

東北大学基金（東北大学総務企画部広報課基金係）

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
TEL : 022-217-5058・5905 E-mail : kikin@bureau.tohoku.ac.jp
URL : <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/>



東北大学基金
Tohoku University Fund



伝統と歴史ある東北大学の課外活動

東北大学は1907（明治40）年に創設され、「研究第一」、「門戸開放」の理念を掲げて、性別、出身学校、国籍などに関係なく、国内外から優秀な人材を受け入れて、最先端の研究に裏打ちされた教育の実践により、15万人にのぼる有為な人材を社会に送り出してきました。

東北大学では設立当初より、心身を鍛え人との豊かなコミュニケーションを得ることができる学生の自主的な課外活動を積極的に推奨してきており、1960年、ボート部エイトクルーのローマオリンピック出場をはじめ、その活動は多岐にわたり輝かしい成果を挙げています。

主な活動成績



学生会漕艇部 女子ダブルスカル種目優勝
第91回全日本選手権大会(2013年度)
第54回全日本新人選手権大会(2013年度)



学生会準加盟団体かるた会
全日本団体選手権プレミアムトーナメント戦
連覇(2014年8月)



学生会準加盟団体 FROM THE EARTH
(ロケット制作)



学生会陸上競技部
全日本大学駅伝
2年連続出場
(2013年・2014年)



学生会フットサル部
全日本大学フットサル大会で優勝(2014年8月)



学生会混声合唱部
東北大学ホームカミングデー記念コンサート



学生会トライアスロン部
水谷淳さんが
世界大会に出場
(2014年9月)



2014全国七大学総合体育大会総合優勝(七大会2連覇)



学生会吹奏楽部 全日本アンサンブルコンテスト
トサクソフォン四重奏賞(2013年3月)



学生会人力飛行部 鳥人間コンテスト人カプロ
ペラ機ディスタンス部門優勝(2012年7月)



学生会オリエンテーリング部 平野弘幸さんが
世界選手権に出場(2013年3月)

東北大学学生会正規加盟団体

- 文化部：男声合唱部/混声合唱部/交響楽部/文芸部/美術部/映画部/演劇部/写真部/茶道部/能楽部/邦楽部/放送研究部/アマチュア無線部/落語研究部/E.S.S./囲碁部/奇術部/軽音楽部/マンドリン楽部/化学部/オーディオ研究部/吹奏楽部/将棋部/書道部/生活部(計25団体)
※このほか文化部準加盟団体(57) 登録団体(2)
- 体育部：陸上競技部/硬式野球部/準硬式野球部/硬式庭球部/軟式庭球部/ラグビー部/男子バレーボール部 女子バレーボール部/蹴球部/男子バスケットボール部 女子バスケットボール部/卓球部/山岳部/水泳部/漕艇部/ヨット部/スケート部/乗馬部/バドミントン部/柔道部/スキー部/ハンドボール部/航空部/剣道部/弓道部/空手道部/自動車部/ワンダーフォーゲル部/ゴルフ部/合気道部/フェンシング部/応援団/サイクリング部/ボディビル部/少林寺拳法部/体操部/アメリカンフットボール部/オリエンテーリング部/競技ダンス部/アーチェリー部/トライアスロン部/男子ラクロス部 女子ラクロス部/アイススケート部/レーシングカート部/極真カラテ部/相撲部/ソフトボール部/中国武術部/防具空手道部/人力飛行部/フットサル部(計49団体)
※このほか体育部準加盟団体(33) 登録団体(3)
- 報道部



東日本大震災により、老朽化していた課外活動施設が損壊

学生の課外活動施設は、学生の活動拠点が川内キャンパス等へ移っても、本学発祥の地である片平キャンパスに今も多く残っています。それらの施設の多くは各活動の歴史と伝統とともに老朽化が著しく、2011年の東日本大震災では非常に大きな被害を受けました。被害が大きかった施設は解体され、現在は応急プレハブで練習を行っているサークルも数多くあります。

片平キャンパスの
学生課外活動
施設の状況
(一部)



- 1 男声合唱部練習場(明治42年竣工)
(東日本大震災後解体)
- 2 第一ホール(昭和34年竣工)
茶道部や邦楽部、演劇部などが使用
(東日本大震災後解体)
- 3 第四ホール(昭和36年竣工)
交響楽部など音楽サークルが使用
(東日本大震災後解体)
- 4 武道場(大正13年竣工)
(東日本大震災後解体)
- 5 片平体育館(昭和27年竣工)
(現在も体育系サークルが使用中)
- 6 交響楽部練習室(大正13年竣工)
(現在も使用中)

新しい課外活動施設

東日本大震災を乗り越え、世界で活躍するグローバルリーダーを育む

学生の若さあふれる豊かな自主的な課外活動を支えるため、川内キャンパスに新たな課外活動施設の建設を計画しています。建設整備へのご支援をよろしくお願いします。

コンセプト

- ・「大学の顔」であり、学生の活動拠点である川内キャンパスに整備
- ・現在片平キャンパス等に分散し、老朽化の著しい課外活動施設を集約
- ・課外活動の成果を発信する場として、一般市民にも開放
- ・自然エネルギーの利用により、維持費と環境への負荷を低減



施設概要

- 規模
鉄筋コンクリート造4階建
延床面積：約4,000㎡
- 主要諸室
1階 文化系エリア
・ミニシアター
・オーケストラアンサンブル室
・演劇練習室
2階 文化系エリア
・和室
・練習室(大3室、中5室、小2室)
3階 体育系エリア
・アスレチックジム
・多目的練習室
・武道場
4階 体育系エリア
・プール：25m、6コース
- 竣工時期
・平成27年度末完成目標

